

令和5年度 第3回 たちかわ市民交流大学企画運営委員会議事概要

日時：令和5年12月19日（火）午後6時～7時35分

場所：女性総合センター 第3学習室

出席者：宮本直樹、秦範子、岡田慶子、能村貞明、長原法子、坂本澄子、萩本悦久、広瀬俊夫、齋藤真志

事務局：庄司康洋（生涯学習推進センター長）、成田智功（市民交流大学係長）、

加藤裕史（同係職員）、床鍋桜子（同係職員）

《当日配付資料》

- 令和5年度第3回立川市生涯学習推進審議会会議録【取扱注意】
- 令和5年度第4回立川市生涯学習推進審議会会議録【取扱注意】
- きらり・たちかわ冬号（第66号）
- 令和3～6年度 たちかわ市民交流大学事業方針（令和5年度進捗状況）
- 今後の企画運営委員会スケジュール
- 「投稿を読んで」（2023年12月19日東京新聞）
- 2023年度 中央大学「生涯学習支援論」実習報告書

《事前送信資料》

- 前回議事概要（確定版）

1. 委員長あいさつ
2. 資料の確認
3. 前回議事概要（確定版）の確認
4. 報告

（1）各委員からの報告

①市民推進委員会

- ・ A委員：来年度の準備をしながら今年度のまとめをしている。今月はあと2回と来年1月から3月にいくつか講座がある。今年度は、講演会を含め33講座、延べ75回開催になる予定。5月にウクライナの講演会を行い、講師であったヤンナさんはその他色々なところで活躍されている。「中村哲さんの足跡を辿る」では、映画上映を2回行い計173名の参加があった。明後日が最終回になる「イスストレッチ」講座で、ベビーカーもOKとしたところ5、6人くらいの方が0歳児を負って参加されていた。講師の市民リーダーの金城さんから0歳から80代まで参加している講座は珍しいと言われた。内訳としてシリーズ講座が70%占めている。萩本さんから外国の大使を経験された方を紹介してもらい、柴崎学習館で新たな講座を開催した。毎回30数名の参加があり、良い方がいたらこれからもご紹介していただければありがたい。今朝のニュースで、65歳から69歳で2人に1人、70歳から75歳で3人に1人が働いていると知った。昔は60歳を過ぎると辞めるといふ方が多かったが、今はまったく違う。もっと若い方は育児、介護等でさらに大変なので、市民推進委員会の活動に参加してもらうためこれからのようにしていくか考えている。
- ・ B委員：「きらり・たちかわ冬号」が、今日納品された。特集記事は、表紙を見ていただくと畑で18・19ページの特集記事「体験型農園で本格的な野菜づくりをしてみませんか」で、市内に5か所ある農園の園主さんに話を伺った。体験型農園は西砂町に2か所と立川の東側に3か所あり、中央線の北側に偏っている。5園の園主さんに取材し、とちの

木農園は来年度募集しないが、知ってもらうために掲載した。17 ページに「図書館を活用しましょう」という記事の中で、各図書館にシンボルマークがあることの説明を、地図入れて掲載している。今号から最終ページに「図書館巡り」という形で図書館を紹介していく。今回は若葉図書館、次回は多摩川図書館を掲載する予定。

- ・ C 委員：5月8日に総会を開くと決まったので、総務部としてはそれに向けて準備をしていく。サポーター会を6・7月に予定している。今年はきらきら交流会ができなかったので、調整していきたい。

②アイム登録団体からの報告

- ・ 男女平等参画課からの報告は特にはない。来年のフォーラムに向けて準備を進めている。ここ数回話題になっている今年のフォーラムの件について確認した。当日参加者数が少なかったため端の席を実行委員の関係者席としたが、実行委員は色々と仕事があり着席できず、席が空いてしまったとのことだった。用意しなかった方がよかったかもしれないと言っていた。市民推進委員会の加藤さんの紹介で、パソコン講座に4か所参加させてもらった。来年度開催計画中。今日は男女平等参画課の審議会で答申することがあり、途中で退席する。

③公募委員からの報告

- D 委員：今日の東京新聞の声で掲載された記事を持って来た。7日の声の欄で、76歳の元校長先生が講師で教えに行ったことを書いてあって、私も75歳の時産休代替で教えに行ったことがあり、同じような気持ちだったので紹介した。私は、小・中2校の学校運営協議会委員になっているが、上砂川小の副校長は100件以上電話しても代替え教員が見つからないということを知り、本当に先生不足で大変だと言うことを書いた。もう一つは、「アイム」に「あるシニア男性の独りごと」を8年間書いていて、今回は兄のことも書いたのでお読みください。

- E 委員：鈴木大拙の有名な言葉に「年をとらなければわからないことがある、年をとって初めてわかることがある」があり、最近80を過ぎると年を取って気がつくことがある。講座のアンケートで、年齢のところに「80以上」というのがなくて困ることがある。もう一つは「仕事・所属」の欄で無職に丸を付けることになるが、「地域活動・サークル活動」という欄がそこに付けられるとよいと思う。高齢になると分かるのは、目・耳が悪くなってきて、特に耳の衰えのほうが悪くなってくる。マイクを使用してほしいし話すのが早い講師は、ゆっくり話してほしい。そういうことを講座が終わった後に、フィードバックしていく必要がある。プロジェクターのスライドの資料の文字が小さくて見えづらいことがあるので、できるだけ大きな字にしてほしい。また、休憩は取ってほしい、夜はできるだけ避けてほしい。

④教育部長からの報告

- ・ 情報提供としては、文教委員会でも報告したが、図書館が12月18日から1月3日まで図書館総合管理システムの入れ替えで長期の休館になっていて、市民の皆様にはご迷惑をおかけしますがご協力をお願いしたい。今議会では、新たに第5次基本構想審査特別委員会が立ち上がった。市の新しい第5次総合計画が令和7年度に始まるので、これまでの振り返り、新しい構想を審査していく。今日その委員会があって、市民と協働をしてきたなかで、少子高齢化、ライフスタイル等によって担い手の状況が変わってきていて、同じ方にたくさんの仕事を引き受けていただいている、世代交替

が起きにくいという話題が出た。私事ですが、地元で自治会に入っていて青年部に所属していて、神輿を担ぎながら自治会役員もやらなければいけない状態になっている。その時々に合わせて臨機応変にやっていけばよいと思うのと、長期的に見ると新規開拓やそれぞれ役割分担していかないと続かないという課題があると思った。

⑤副委員長からの報告

- ・お手元に「2023年度 中央大学「生涯学習支援論」実績報告書」を配付しているが、今年度も市民交流大学係、市民推進委員会の方にご協力いただき、5名の学生が参加した。学習支援者の立場で関わることができ、貴重な現場体験をさせてもらった。快く受け入れていただき大変感謝している。10月28日の「クラシック入門」の第5回を最後に、参加した講座が10講座になる。実習後は授業の中で、学習支援者としてどう関わったか、講座の中での印象に残ったことなどを報告してもらっている。学生の名前は伏せているが、1人2講座ずつまとめているので、ぜひお読みいただきたい。

⑥ボランティア・市民活動センターたちかわからの報告

- ・来月末に広報紙が出る。

委員長：全体を通して何か質問はあるか。D委員の「アイム」の記事はお兄様のことを書かれていて結構反響があったのではないかな。

D委員：いつもは名前を隠すのだが、編集長が「ここまで書いたら名前を出して」と言われて書いた。

副委員長：お兄様は80代ですか。

D委員：彼は82です。私が一番末っ子です。

委員長：E委員からの確にまとめられた意見をいただいた。誰もが参加しやすい介護は、大切だと思う。

副委員長：板橋で市民講座の講師をやっている、参加者の中に80代の方もいらっしゃる。マイクを使ってほしいという指摘を受けたことがある。大学だと50人程度の教室だとマイクを使わない。高齢者の方が聞こえ難いということに気がついた次第である。講座を運営する職員も、そういうことに気がついていただきたいと思う。

D委員：職業欄のことだが、無職だけど忙しくしている人もいるので、「社会教育関係団体」等という項目があればよいと思う。無職というのは抵抗がある。

副委員長：「大学教員」も選択肢になくて、いつも「その他」に書いている。就業形態に見合った幅広い選択肢を設けて作ったほうがよいと思う。

委員長：「会社員」、「公務員」、「自営業」でもないということですね。

E委員：こんぴら橋会館の会報に名簿が出ていて、「地域活動実践者」と書いてある。

副委員長：この時代に合ったカテゴリーが必要なのかと思う。社会教育関係団体は立派な肩書だと思う。NPOなどでボランティアとして活動されている方も多いので、社会教育関係団体を入れてもよいと思う。

委員長：企画運営委員会からの提案として、アンケートにあれば丸を付けやすい名称を1つ考えてみたい。「地域活動実践者」はどうか。その中にNPO、社会教育関係団体等も入る。

A委員：「ボランティア」というのが入っていたような気がする。市民推進委員会で審議してみたい。80代についても確認してみたい。

E委員：私はボランティアと書いてしまう。

委員長：提案としてどんな言葉が良いか。「地域活動者」、「ボランティア」等。何がよいか。

F委員：非正規、パート・アルバイト等と書いてある。

副委員長：その他に自由に書けるようにする欄があればよい。

委員長：普段こういうことに興味持ってくれた方が講座に参加したということが分かれば良い。

副委員長：自治会などでも良い。

D委員：シルバー人材センターで働いている方は、どのように書けば良いのか。

F委員：個人事業主なので自営業になる。

委員長：シルバー人材センターの方は毎日働いているわけでない。その方が普段どんな活動をしているかを聞きたい。

D委員：職業よりそういう質問項目のほうがわかりやすい。

副委員長：地域活動に注目して、学校コーディネーター等のカテゴリーを作って入れていけばよい。

委員長：地域人材の事を考えると、そういう調査が必要かと思う。

(2) 事務局からの報告

①地域学習館運営協議会

柴崎学習館：シリーズ発達障害「中高・進学について聞いてみよう」や市民企画講座、地域活性化講座、平和人権ロードショーなどの実施報告があった。協議事項としては、次年度のすわっ祭について話し合われた。

砂川学習館：建替え工事のため実施されていない。

西砂学習館：中規模改修や「ウィンターイベント」、「西砂学習館まつり」の準備について議論されていた。

高松学習館：立川女子高等学校クッキング部や東京学芸大学と連携した講座の実施報告があった。地域活性化講座について協議されていた。

錦学習館：スマホ決裁の講座や市民リーダーを活用した講座の実施報告があった。「第14回プレ錦まつり」について、学生からのプレゼンがあった。

幸学習館：防災講座「災害弱者（高齢者等）の避難の課題」の実施報告があった。こちらは対面だけでなく、オンラインでも実施された。かわせみ祭2024についての協議事項があった。

全体としては、地域学習館生涯学習関係者等研修会が、2月2日（金）午後2時から柴崎学習館ホールで開催予定。

② 配付資料の説明

○生涯学習推進審議会の議事内容

第3回が8月30日に開催され、報告事項2件、協議事項3件、その他2件です。協議事項の2番目「立川市第6次生涯学習推進計画 令和4年度取組状況の進捗評価表について」ですが、令和2年度から6年度まで毎年生涯学習推進審議会で計画進捗の評価を行っている。今までと違う点としては、進捗評価をするにあたって、評価だけで終わっているのではないか、PDCAサイクルのCで終わっているのではないか、次に繋げていくためにどうしたらいいのかという意見を踏まえ、事務局で次に改善しやすくするために評価欄を変えた。昨年度の評価に対してどういう動きをしたかという項目を加えた。評価作業を3回行い11月29日に開催された審議会で概ねまとまった。協議事項の3番目、「立川市第7次生涯学習推進計画 市民アンケートについて」だが、無作為抽出で

2000人に郵送し600人弱から回答をもらった。現在、最終のまとめの段階。ここでもICTの活用ということで、紙だけでなくインターネットでも回答できるようにした。次回以降に報告したい。その他の1番目、「教育委員（公募枠）の選考委員の就任について」だが、生涯学習推進審議会の委員の中から教育委員の公募の選考委員に1人出してほしいという主旨である。立川市は一般公募委員と保護者委員の2人の委員がいる。今年度は一般委員の公募にあたるということで、選考のお願いをした。ちょうど明日12月20日の本会議の最終日に議決される予定。その他の2番目、「令和5年度第2回立川市議会定例会報告」は6月議会の報告ですが、いくつか紹介すると学習館のピアノ等の備品、無形文化財の考え方、地域学習館のWi-Fiの通信環境等の質問があった。私の方からは、砂川学習館地域コミュニティ機能複合施設の整備、西砂学習館の中規模改修工事、学習等供用施設の滝ノ上会館の中規模改修について報告した。大きなトピックとしては、中学校給食が二学期から始まったことです。第4回については、引き続き進捗評価表についてと第7次生涯学習推進計画の自由討論ということで、委員の方から意見を出してもらった。この新しい市長の50の公約の中に「施設予約システムの改善」があるが、今は仮予約したあとに一回お越しいただき本予約することになっており、それを一回で済ませるように改善するということである。この件については生涯学習推進センターだけではなく、男女平等参画課、スポーツ振興課、地域文化課も同じシステムなので、センターが主導して検討していくことになる。

○「きらり・たちかわ冬号」について

本日納品されて、アムには配架してある。B委員から報告があったとおり、特集記事「体験型農園で本格的な野菜づくりをしてみませんか」を産業振興課と5園の園主さんに協力して作成した。

「図書館巡り」の連載について、17ページに「図書館を活用しましょう」と最終ページに「若葉図書館」の紹介を掲載した。

事務局：きらり・たちかわですが、見ていただくと申し込みが電子申請というものが少しずつ増えていて、立川市もLoGoフォームを使用するようになり、これから増えていくと思っている。

副委員長：デジタルデバイドの問題が生涯審でも議論されていて、高齢者が取り残されてしまうこともあるので、電話でも受け付けてほしい。若い人はGoogleフォームで申し込んだ方が楽かもしれない。リマインドメールが送られてくればなおよい。世代に応じて上手く使い分けてやっていければと思う。

事務局：人権関係のイベントがあり、140名くらいの申込があり100数名くらいがLoGoフォームで申し込みでしたが、当日参加されたのが半分ちょっとで残念に思った。気軽に申し込みはできるが、忘れていいのか、副委員長が言われたとおりリマインドメールを送ることを検討していく必要があると思った。

副委員長：機械的にリマインドメールを送ることはできる。

A委員：11ページに極地研の講座はQRコードと電話が掲載されていて、これはどちらでも申し込みできるということか。3ページ「環境学習講座 国産コーヒーについて知ろう」は、「電子申請で」と書いてあるが、これはチラシなどにQRコードが出ているのか。

事務局：チラシや広報紙にQRコードが掲載されている。

A委員：アピールとしては、電話でも申し込みできることが分かればよいと思う。

委員長：申し込みは電子申請で、問い合わせは電話という意味ですかね。LoGoフォームというのはどこのメーカーか。

事務局：行政版の Google フォームみたいなもので、トラストバンクという企業のもの。国が推しているもの。

5 議事

(1) 令和5年度たちかわ市民交流大学事業方針 進捗について

委員長：事務局から説明をお願いしたい。

事務局：資料3「令和5年度 事業方針 進捗」は、9月に出したものに追記、修正した。これ以外に補足するものがあればお願いしたい。

委員長：何かお気づきのことはあるか。今年度の進捗としては、順調に進んでいるということでしょうか。

事務局：コロナの時の3年間は減っていたが、そういうことはなくなっている。幸学習館で、防災講座をオンラインと会場の両方の参加を可能にして開催した。おそらく初めてのことだと思うが、上手くいったと聞いている。職員も Zoom に慣れていないということで、東京学芸大学の学生に協力してもらい職員向けの研修を行った。各学習館から2名くらい参加して、とてもよかったとのことだった。きらり・たちかわの7ページの下に載っている「立川市民の戦争」は、オンラインとリモート会場（高松学習館）両方でやることになっている。

副委員長：市民交流クッキングに学生も参加した。とてもよかったと言っていた。コロナが5類になり、できることが増えていると感じる。Wi-Fi 環境が整備されていくなかで、オンラインとリモートのハイブリッドもできるようになればよいと思う。

E委員：機材（プロジェクター等）もよいものでないといけない。

事務局：各学習館にパソコン、プロジェクター等はある。

副委員長：集音マイクはあるか。集音マイクがないと、参加者の声が拾えない。

事務局：スピーカーはある。

A委員：進捗について市民推進委員会の方からこれを入れてくださいということはあるか。

事務局：「取組状況」に追加することはできる。3月にまとめ案を提出するので、「成果と課題」についてはゴールデンウィーク頃までに意見をいただくことになる。

6 その他

(1) 次回の会議日程等について

委員長：事務局から説明をお願いしたい。

事務局：資料5をご覧ください。1月30日と2月27日が、第7次生涯学習推進計画の策定の関係で開催予定だったが、生涯審とのスケジュールの関係で中止となった。それに伴い今回は、3月19日（火）18時からアイム第3学習室となる。

委員長：来年度の予定についてですが、昼間の開催を探してみようと思う。生涯学習推進審議会と調整して開催しようと思うが、5月27日（月）16時から18時、6月24日（月）16時から18時、10月1日（火）12時から14時という感じで昼間の開催を考えてみるのもよいのかと思う。

B委員：仕事をしているので昼間は難しい。第2・4の水曜日の昼間は市民推進委員会があり、それ以外となると大変。

A委員：市民推進委員会の講座は午後2時から4時がほとんどで片づけ等すると午後5時になってしまう。講座後に会議となると昼間では難しい。

D委員：学校に行っていると5・6月は、予定が多く入り突然行くこともあり、夜の方がよい。

委員長：夜で考えていくと、午後6時か6時半で考えたい。今のことを踏まえて次回調整したい。

副委員長：日程も候補として挙げてしまったらどうか。3月まで延ばしてしまうと会場等の都合もあるのでは。

委員長：5月27日（月）午後6時から、6月24日（月）午後6時から、9月24日（火）午後6時から、12月17日（火）午後6時から、3月25日（火）午後6時からで、生涯学習推進計画の進捗状況の関係で、7月頃にも開催があるかもしれない。

以 上